

事業名	結核対策費			調書番号	61
細事業名	結核対策普及啓発事業費	財務コード	731905		
担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課 感染症 担当 (内線)	3511			

I 事業の概要

実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	医療機関や行政の結核業務担当者	正確な知識や最新情報の習得
結果、何に結びつけるのか		
結核の予防・まん延防止対策		
内容	1 事業目的 結核に係る正確な知識や最新情報の習得による結核の予防・まん延防止 2 事業内容 結核の治療やまん延防止に関する研修会の開催及び(公財)結核予防会結核研究所が実施する研修への参加 3 事業実績 講習会の開催10回(平成25年度～平成29年度)、派遣研修22名参加	

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	研修会の開催	目標	2	2	2	2	2	2
		実績(見込)	2	2	2	2	2	2
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	参加者のニーズ、または理解度が参加者の80%以上	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
		実績(見込)	69.4%	98.3%	84.9%	77.1%	77.6%	80.0%
		達成率	87%	123%	106%	96%	97%	100%
		達成区分	b	a	b	b	b	b
決算(予算) 単位: 千円		362	382	417	415	722	455	431

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	予定どおり実施できた
成果指標	b		研修会の演題や講師の講習内容によりニーズや理解度が年度によりバラツキが見られたものの、意図した成果を十分に上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	現在でも十分な成果を上げているが、毎年、研修内容を検討し、必要に応じて研修内容や開催方法を見直すことにより、更なる成果が見込める
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (研修の内容や講師の選定方法を見直す余地がある。)
その他	説明	
見直しの必要性	有	結核の治療や対策に係るニーズはその時々に応じて変化することから、その状況に応じた研修内容や講師を設定する必要がある。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	県内の患者発生状況や他の自治体の状況を調査し、研修内容や講師の選定を行う。
----------	----	---------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。